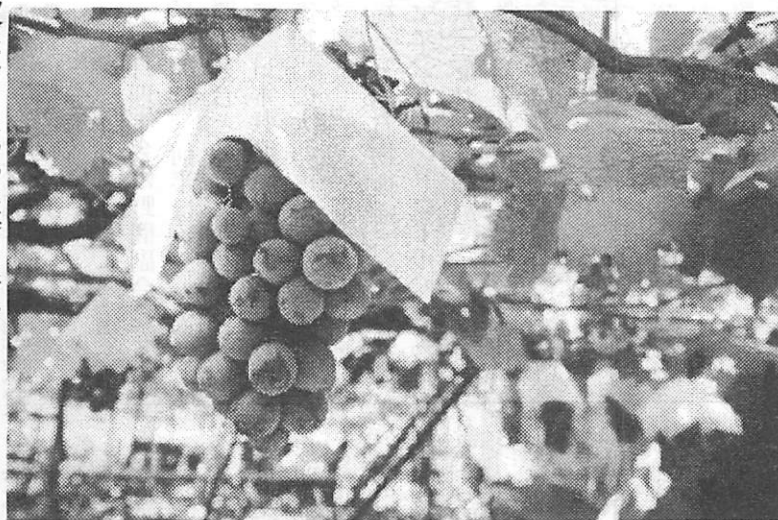


「今が旬」たわなに実ったブドウ……
柏原のブドウ園で 編集部撮影（8月29日）



大 阪 版

No. 4 8 7

発行所

治安維持法犠牲者
国家賠償要求同盟〒113-0034
東京都文京区湯島2-4-4
平和と労働センター 全労連会館大阪府本部
〒543-0045
大阪市天王寺区寺田町2-6-2
東大阪 (ARK)ビル 3F
TEL・FAX 06-6772-7555
振替 00910-6-53293E-mail
tidouosk@opal.plala.or.jp
大阪版ブログURL
http://doumeinews.exblog.jp/

政治を私物化し歴史を逆戻りさせた安倍政治

「国葬」は自民党と統一協会との深い癒着を免罪し

「弔意」を強要するもの、反対世論を広げよう

安倍元総理が射殺されて以後、国葬・統一協会と自民党の癒着等々目まぐるしく情勢が動いている。内閣支持率は急落し、JNNの調査では、自民党議員が統一協会との関係を断つことができないと答えた人は、75%にのぼり、「読売」でも72%。自民党の国会議員と統一協会との関係について「点検」はするが「調査」ではないとする、自民党の本気度を国民は見抜いている。「国葬」についての世調では、新聞各社やテレビ各社でも「国葬」に反対するが過半数を占めている。上智大学の中野晃一教授は「どつぽにはまった」と表現している。「国葬」の中止を求める4団体・個人（学者など17氏）のよびかけ、他）は1カ月で、40万の署名を集め内閣府に提出している。同盟府本部も「国葬」反対の特別決議を

私たちの運動の基本

- ふたたび戦争と暗黒政治を許さないために
- 一、治安維持法体制の復活に反対する
- 二、国は戦前の治安維持法が人道に反する悪法であったことを認めること
- 三、国は治安維持法の犠牲者に謝罪と賠償をおこなうこと

行っている。岸田首相の「国葬」の理由について、安倍内閣は憲政史上最長であったことを挙げているが、8年余りの安倍政治は「安保法制」の強行等、法治主義を蹂躪し、「森、加計、桜」に見られる政治を私物化し、「秘密保護法」等、歴史を後戻りさせる最悪の政治であった。「国葬」は憲法14条の「法の下の平等に反」し、憲法19条の「思想及び良心の自由に反する」し、「国葬」の法的根拠もない。「国葬」は安倍政治への「敬意」を国民に強要し、統一協会と深い癒着があった安倍氏を免罪することになる。国葬費用も不透明である。日本の民主主義を守るためにも「国葬」中止の世論を広げよう。

(大石喜美恵)

9月理事会

同盟員2000名回復、国賠署名の目標達成に向けて
各支部での目標設定と具体的行動の提案を

各支部での総会開催を訴えます

9月理事会は野間副会長を議長に開催。前半は「統一協会・

勝共連合とのたたかい」と題して、日本共産党大阪府委員会政策担当の大西淳子さんを講師に学習会。4つのキーワード①「祝福」と「万物復帰」、②洗脳とマインドコントロール、③「勝共」反共と反動の「先兵」、④偽装：様々な顔、について詳しく説明がありました。

大阪におけるたたかいをいくつか紹介、2000年の知事選、総選挙では「反共謀略ピラ」の大量配布があった。そして統一教会による被害根絶に全力をあげ、政治との癒着一掃をと結ばれました。

理事会では、まず大石会長のあいさつ、憲法違反の「国葬」を多くの国民の反対がある中、強行しようとする岸田内閣を批判。沖縄県知事選について、大阪のカジノ計画について話され

ました。

甲斐事務局長の議事提案の後、出席者による報告討論。署名推進委員会から佐々木さんが署名推進ニュースを示して、今年度は2万筆達成に向け、支部への声掛け援助、他、大きな催しに合わせた署名活動、支部建設にも取り組み、推進ニュースも引き続き発行することです。

女性の会からは、10月の日本母親大会に代表が参加。11月6〜7日の全国女性交流集会、全大会予定講師は田村智子さんで、個人負担は1万円ほどで、支部、又、お知り合いの女性を誘ってくださいとのことでした。

岸野さんからは、機関紙「不屈」にクイズを出していて答えと、余白に意見等を書いて出してほしい。映画「ポーランドへ行った子どもたち」の紹介がありました。

上山さんからは、「須賀子の会」で会報発行の件とフィードバックを計画中とのことでした。四条畷支部の須山さんから、ここ3年二つの大病をして久しぶりに支部の同盟員の方に行き添いの方も機会があれば来させてもらおうとのことでした。

岩佐ダン吉さんからは、9月14日に大阪城公園で、鶴彬前祭があり参加の呼びかけがありました。

新理事として初めて参加の深津さんからは戦前の治安維持法と同盟の活動を知らせていく必要を感じており、これから勉強をしながらやっていきたいとのことでした。

八尾・柏原支部の柴田さんからは、八尾市での11月の千代子の映画の取り組みの様子、今月24日には中田

進さん講師で2度目の学習会を取り組みますとの報告がありました。



近畿ブロック会議開催について

開催日時と日程

11月8日午後1時より記念講演

「岸田政権の狙うものと今後のたたかい」

講師 植松健一先生 (立命館大学法学部教授)

・各府県民代表者報告

午後6時より懇親会

11月9日午前9時より分散会

正午解散

宿泊：シティーインワカヤマ

(和歌山市吉田 432)

府本部結成 40 周年記念

講演会と懇親会

2022年11月16日15時〜

講演：「朝鮮の治安維持法」

荻野 富士夫 (小樽商科大学名誉教授)

会場：道頓堀ホテル

※3年前まで大会で使用していた会場です。
第1部 講演会、第2部 懇親会となります。
文化行事も予定中です。

「不屈」バックナンバーで40周年を振り返る その5

● 1996年6月15日号 (NO.172)

大阪府本部第十五回大会

活動報告・運動方針(案)

国賠署名 55,580 名分を結集して全国の運動に貢献

● 1996年11月15日号 (NO.177)

革新大躍進 日本共産党が26議席獲得

「特高」の流れをくむ警備・公安警察と

公安調査庁の連携プレーを許さない

青山照明(大阪府本部会長)

● 1996年12月15日号 (NO.178)

追悼 五十川平吉さん(府本部事務局長)

⇒



たたかいと躍進の1996年のあゆみ ⇒

● 1997年5月15日号 (NO.183)

拷問のなかで決意 歴史動かす歯車に

林センさんのお話し

● 1997年9月15日号 (NO.187)

九十一才 太田まちさん

国連の場で訴える

国連人権委員会 アウシュビッツレジスタンス博物館 国連要請と連帯するツアー



● 1998年5月15日号 (NO.195)

治安維持法下を語るつどい

岩本孝雄さん(府本部顧問)

● 1998年6月15日号 (NO.196)

治安維持法下を語るつどい

大阪商大事件と私

平井都士夫さん

(大阪市立大学名誉教授)

● 1998年7月15日号 (NO.197)

治安維持法下を語るつどい

福井初枝さん ⇒



各支部版の『不屈』紹介 第3回
読まれる『不屈』と『かべ新聞』

吹田・摂津支部長

松本 洋一郎

支部版『不屈』は活動の命

私はJR寺田町の府本部事務所に毎月1回は訪問します。府本部が「不屈」を支部や個人に発送する前日です。全国版、大阪版、折込みチラシを持ち帰るのですが重たいのでキャリアバッグに入れて運びます。

我々の同盟にとっては機関紙「不屈」は活動の命なので特別に重視し、時間のあるときは他の地域の仕分けを手伝ってから

帰ります。

翌日(10日頃)の「支部幹事会」

で昼に動ける6人位が集まり、支部が発行した「不屈」と「かべ新聞」の内容を論議します。

帯封ではなく透明の袋に入れて約8割を手配りし、残りは郵送します。手配りは手伝っていた

だけの役員、会員さんで、特徴は11名の市会議員の会員のうち可能な9名の方も応援し配っていただいています。

表紙の1面全部を使って毎月会員さんに順番で700字ぐらいの寄稿をしてもらっています。カラーの写真付きで、自由

なテーマなので大変好評です。

2・3面は「自由と平和めざした人々(吹田・摂津)」の連載で、現在は元府本部理事の福田耕さんに『吹田事件70年』と題して貴重な郷土の歴史を書いてもらっています。

4面は「戦後の吹田・摂津で進歩を求めた人々」を私が連載していますが、毎号苦勞しています。

5・6面は「吹田・摂津だよりのページで、地域での活動を紹介・報告するコーナーです。毎月30カ所に「かべ新聞」

3年前から始めた「かべ新聞」の方は、毎月1回A3判カラーのポスターで吹田・摂津内の労組、民主団体、党議員事務所な

ど約30カ所の事務所内に貼って

頂いています。その月に起こった戦前の全国や大阪の活動を集めた内容で、毎月張り替えてもらっており、治安維持法などによる犠牲者のたたかいを紹介し今日の平和や憲法のたたかいに役立ててもらっています。この「かべ新聞」は、全国的にも例のないユニークな活動として注目を呼んでいるようです。

コロナ禍が心配される中ででしたが、7月31日、清水忠史前衆院議員の講演をメインにした「支部総会」は対面で3年ぶりに開催、30名の参加がありました。

8月27日の吹田・摂津実行委員会主催の映画「伊藤千代子」上映会は367名の参加で成功

しました。「仲間ふやし」と「国賠署名」でも支部として頑張っています。

全国的にも注目を集めるユニークな『不屈』壁新聞版



『不屈』読者の声を考えてみましょう

国賠同盟に入っただけだ…

不屈編集委員会



『2013年に入会してから組織的な活動をしたことがありません。支部役員でもありません。支部会議ゼロ、招集ゼロ、

かを出し合って、ゆたかな活動をしていきたいものだと考えます。

役員の名前も知りません。もちろん、顔は昔から知っている人が『不屈』のニュースで〇〇区の会員と知りました。』

8月号のクイズ回答の余白

に、こんなコメントが寄せられました。

仲間ふやしを毎回呼びかけながら、せっかく仲間になつてくれた人が周りとながつて居ない。こういう現状は少なくないようです。ただ人数をふやすだけでなく、仲間になつた人、一人ひとりの声を聴き、それぞれの人がこの同盟で出来ることは何

また、支部の無い行政区に支部を立ち上げることも大阪府本部として焦眉の課題になっています。支部をつくり仲間を広げて運動をしようという方は是非府本部にご連絡ください。ご一緒に頑張ります。



伊藤千代子の生涯…をこめあげた人
治安維持法犠牲者国家賠償請求同盟
入会案内

縁の下で居たからこそ『ペン先を折らず』に…

『不屈』編集委員 長崎屋 勉 (82歳)

私は、1969年〜2003年まで、定年後の再雇用の3年間を含めて、大阪市内エリアを中心に、生コンクリート・ミキサー車の運転手として現役時代を過ごしました。

機関紙編集に関しては、鉄筆・やすり版・手書き活字・ガリ版などの言葉の響きは、私たちの年代の方々には懐かしい響きを感じさせることでしよう。

その後は、ボールペン字の原稿を版下に写し取る機器やワープロの時代へと機関紙誌編集の機器も発展を遂げ、現在では、パソコン・スキャナ・プリンターなどに加えインターネット・Eメールなど、機関紙誌の編集も目覚ましい発展を遂げています。

私の周囲では、機関紙の担当者といえば、2〜3年くらい経つとやめてしまう人が多かったのですが、私は、なぜか18年

投稿を歓迎します

編集部では、読者の投稿をお待ちしています。積極的提案、成功した行事、身辺に生起する出来事、同盟への苦情、等々なんでもお気軽にお寄せください。8ページのクロスワードパズルの解答をお寄せいただくときに、ハガキの余白に書いて頂けると切手代金を有効に使用できます。

是非よろしく願います。

今になって思うのは「縁の下でよかつた」と…。アンダーテーブルなどの誘い…、「誘惑されることもなく『ペン先を折らず』に済んでいます」…。

弾圧で命を奪われた人々(5)

学びを生かせず死去 中川誠三

柏木 功(府本部・資料部)

1903(明治36)年9月1日生まれ。本籍は大阪市浪速区栄町5丁目。栄小学校の時に家族とともに鳥取県米子町に転居。父親が靴店を開く。米子中学校1年の時に父親の靴店が失敗。栄町にもどる。叔父の家で靴工見習いとなり

中川の死を伝える『救援新聞』第3号(解放運動犠牲者救援会1930年3月27日)



又同志中川が斃れた!

(二月十七日大阪版) 中川君は、三箇年の刑で服役中だった同志中川誠三は、ヒン死の状態で二月七日出獄し、同廿日遂に水斃した。

20歳の時に家で父とともに靴を製造する。22年3月3日の全国水平社創立大会に松田喜一らとともに参加、西浜水平社に加入する。24年頃、水平社青年同盟に参加。『水平新聞』や『選民』の発送や辻売りをする。両国水平社創立大会に参加し話をする。

メーデーに参加。『選民』の挿絵を描く。総同盟神戸連合会の藤原某(栄二郎か)からロシアに行き勉強してはどうかとすすめられ、承諾する。25年9月上旬して徳田球一宅に集合し指示を受け門司・上海經由でロシア貨物船に乗りウラジオストクに渡る。モスクワに行き東洋勤労者共産主義大学(クートベ)の2期生となる(ロシアでの名前は

塚本)。エロシエンコの通訳で学ぶ。27年3月肺結核となりモスクワの病院、郊外の療養所で過ごす。帰国第2陣として袴田里見らとともに28年3月モスクワを出発。5月13日、朝鮮に入ったところで警官の臨検に遭い、質問の答えに詰まり、新義州警察に引致され、大阪に護送される。20

日ほど取り調べを受けたが肺疾患のため6月12日釈放される。奈良県磯城郡川東村金沢の親戚宅で静養する。中川は福井由数に、「大阪でロシア帰りの袴田、岩井は検挙されたが、塚本(中川のこと)は西浜に帰っている」と無産者新聞社に連絡するよう依頼する。

福井は無産者新聞社と連絡がつかなかったので上京する山口恒郎に依頼した。

山口は小宮山富江と連絡を

とり帰阪。8月、山口、福井が奈良で静養中の中川を訪問。

9月末頃、奈良では警察がうるさくて出ることができず、大阪で隠れて養生しつつ活動する。11月上京するも御大典で騒がしく、姉の嫁ぎ先の親類を頼り香川県小豆島洲先村へ逃げる。のち帰宅し父とともに靴製造にたずさわ

る。29年2月18日芦原署に検挙、3月起訴、9月一審で懲役2年6か月の判決を受け下獄。

獄中で肺結核が悪化、30年2月7日、刑執行停止となり出獄。福井を呼び手を握り「福井、はねあがるなよ」と言い残す。中川の死去する前日の遺言であった。2月20日死去(26歳)。

(敬称略)「犠牲者名簿」は大半修正です。



女性の棚

映画「わが青春つきるとも」を観て：
あの時代を生きた人たちが
命がけで残してくれた日本国憲法

吹田・摂津支部 玉井美樹子

繊維工場で働く人たちの話を聞きに行き、千代子さんが「働いてどう?」「それは当たり前だよね」と一人ひとりの声に応えていくのが『リスペクト』やん」と心が晴れていく感じがしました。この気持ちに「国民の苦難軽減」「住民が主人公」。さすがと心がわくわくしました。

きつと、繊維工場で働く、ふみさんやその仲間も同じだったからこそ、団結し立ち上がったといったのだと思います。そして治安維持法。これがいかに悪法か、そのことを痛感しました。

自分と同じ思想でない人は罰を与える。一人ひとりを大切にせず、命すら無下に扱う、そんなことが当たり前だった世の中に、決して絶望することなく、学び行動していく、自分ではできないだろうか…と考えさせられました。

同時に『学ぶことは生きるこ

と』なんだなと、どんな時も仲間を信じ続けた千代子さんの生き方が語っていると思いました。

通信手段が豊かな今だからこそ、つながり、学び、語りながら社会をつくっていく一員として、どう歩んでいくか。

日本共産党員と名乗ることが罪とされた時代、伊藤千代子さんをはじめ、あの時代を生きた人たちが、命を懸けて残してくれた日本国憲法。

そこには「一人ひとりが大切にされる基本的人権」「どんなことを思っているにしろ、思想信条の自由」「男も女も同じ権利、男女同権」「人を殺しあう戦争はしない、戦争放棄」が記されています。

悔いなく、戦い続け次の時代にバトンをつないでいく一人でいたいと思います。

大阪府内の治安維持法犠牲者名簿から（女性）

字数の関係上一部省略しています。あいうえお順です。(No12) (女性部部长 柴田 雅子)

田代 レツ (たしろ れつ 旧姓・小泊 ことまり) 8・26

1911年(明治44)年生まれ本籍は大分県西国東郡玉村大字真玉。中津高等女学校卒、京都府立女子専門学校国文科中退。29年3月山宣の暗殺に憤慨し、社会主義運動に興味を持つ。田代文久のすすめで30年日本共産党に入党。田代と結婚する。田中清玄らのレポーターや、「第二無産者新聞」共青機関紙『無産青年』配布などで活躍し東京で検挙される(日時不詳)。

この最初の検挙で女性としての尊厳を踏みにじる卑劣な拷問を受ける。全協交運乗合自動車オルグ、日織大阪支部阪神地方オルグとして活動し、32年4月3日検挙、8月1日起訴される(小泊烈、無職、23歳)。佐賀刑務所で7年間服役する。出所後、夫の田代とともに満州に渡る。中津高女は「わが校には小泊レツなどという国賊は、卒業はおろか入学し

たこともない」と学籍を抹消。戦後、同級生の運動により学籍は復活した。[特7・5]

棚橋 ふみ (たなはし ふみ)
共産主義者団事件

本籍は兵庫県。高等女学校卒。1936(昭和11)年5月頃『学生評論』の継続読者となり、友人に勧めた。翌年2月上旬頃より中山通子、梅木ちわ子とともに「かりがね会」を組織しその機関紙「かりがね」の名義人となり、編集発行に従事し、自らもこれに数回投稿する。また中山通子とともに内田穰吉を講師として辰巳経世著「資本論読本」をテキストとする研究会を開催し、仲間を組織していった。38年1月頃まで「学生評論」。「土曜日」、又自分で筆写した「共産党宣言」を所持し、友人に貸すなど活動した。9月13日検挙、39年2月18日に起訴される(無職23歳)。[特13・12、特14・2、思57・229]

文芸欄

短歌

武田 俊郎

国葬反対

国葬は公私混同の安倍政治を続けることを明かす日となる

亡霊が統一教会と手を組み、また現わる国葬反対

俳句

安村 和義

虫の音を

秋暑し反共カルトの闇ぞろり

国葬の亡霊走る大西日

ひぐらしや戦争惨禍つなぐデモ

虫の音をたつぷり子らにウクライナ

歌いきる「ひまわり」合唱長崎忌

川柳

岩佐 ダン吉

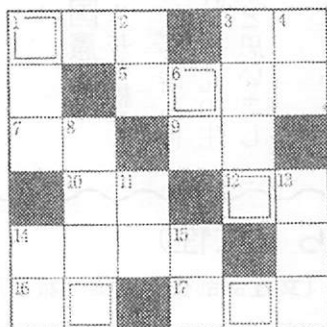
〈鶴形・この一句〉(99)

鉄板背負う若い人間起重機で曲がる背骨

・本来ならクレーンで移動する鉄板を「人間起重機」として扱われる若者。手間も省け安上がり、やがては腰を痛めて…「半島の生れ」の章です。

〈私の時事吟〉

最大の魅力勝共二字でした

クロスワード
パズル

カギを解き二重棒の字を並べてできる言葉答えましょう

【タテのカギ】①武芸の——を伝授する
②——を聞いて十を知る ③腰の痛み
④髪をすく道具 ⑤——と矢 ⑥祝いの言葉
⑦三面——で話題となる ⑧順位
⑨情に——させば流される ⑩魚——、——糸、——堀

【ヨコのカギ】①後添いの妻 ②——に目がくらむ ③悪天候で試合は—— ④——橋を叩いて渡る ⑤甘い蜂—— ⑥ト——やこんこ ⑦オモテの対 ⑧さのう ⑨父・母の兄弟 ⑩レジはレジスターの——

パズルクイズの「正解者」にCD「未来へつなぐレクイエムⅡ」(頒価¥1000)を、抽選で10名の方に進呈します。ハガキに(FAX・メールでも可能)「回答、を、余白には、身近に生起する出来事などを書いてお送りください。

〒543-0045 大阪市天王寺区寺田町2-6-2 ARKビル3階
治安維持法同盟大阪府本部 機関紙編集委員会宛
TEL/FAX 06-6772-7555 E-mail: tidousk@opal.plala.or.jp

特高官僚

柳河瀬 精

反動潮流の源泉

売られています。故柳河瀬精さん渾身の力作で、特高官僚たちが、現在の日本国のカタチをゆがめていった過程が勉強できます。

破格の¥1700です。

[編集後記]

● 今月号の表紙写真は柏原市のブドウ園での撮影。丘陵に広がる見事なブドウ棚を見てしばしの憩いを得ました▼3面「バックナンバーで振り返る」は現在の運動に教訓を与えてくれます▼4面「吹田・摂津支部の壁新聞」にご注目下さい。たいへんユニークな企画で、全国からも注目されています▼5面「読者の声」については同感される方が多いのではないのでしょうか。ご意見をお待ちします。(甲斐)

加害の歴史を考える戦争パネル展

開催日程 2022年

9月18日(日)～19日(月・祝)

10時～17時

会場

エル・おおさか9階ギャラリー

(大阪市中央区北浜東3-14)

主催：大阪府保険医協会 反核平和委員会

主催：大阪反核平和医療人の会